

共済運動の推進に向けて もしもの時に備える加入の重要性を確認 ～2023年度 共済推進会議～



発行所
熊本市西区京町本丁2の7
全国林野関連労働組合
九州地方本部
(電) 096-354-1150

発行者 加来尚貴
責任者 10日
発行日 1部20円
定価 組合員の購読料は
組合費の中に含む

緑を育て、守る、
林野労組

9月8日から9日にかけて、熊本市において、2023年度共済推進会議が開催され、林野労組各分会、林退会各支部、全山労から担当者総勢34名が参加、共済運動の推進に向けて全体で意思統一が行われました。



冒頭挨拶をする加藤委員長

会議では、冒頭、主催者の加藤九州地本森林労連執行委員長が「共済については、組合員の減少や組織率の低下により契約件数等の減少に歯止めをかけ切れていない厳しい状況が続いているが、組合員同士の助け合い、相互扶助の精神のもと、森林労連共済の加入促進に御理解を頂きたい。担当者任せとせず、全体での協力体制を作り、今後の共済運動に取り組んで頂きたい」と挨拶。次に来賓の木村九州地方林退会事務局長から挨拶を受け、会議には森林労連共済推進本部から水田事務局長をはじめ3名が出席、議事入りしました。



様々な意見が出される

冒頭、井上明夫事務局長（大分県副会長、会長代理）より、

まず、「ウッドショック後の九州森林・林業・木材産業はど

うなるのか」と題し、遠藤日雄氏（NPO法人活木活木（いきいき）森ネットワーク理事長）による講話があり、ウッドショックが起きた背景を踏まえ今後の九州における森林・林業・木材産業がどのようになるのかを踏まえ講話がありました。

ウッドショックについては、コロナ禍による景気対策により新築住宅着工件数が増加したものの、北米西岸の製材工場の稼働率低下に伴い日本への製品輸出が減ったこと及び異常気象による森林火災により製材丸太の供給が不足したことで首都圏住宅市場が逼迫。その不足分を南九州及び北関東・東北の製品に当てたことから木材価格の高騰に繋がったこと、また、九州には年間5万㎡以上の国産丸太を消費する製材・合板工場が多いこともあげられると分析。今後、長期的な視点から木材

より「2022年度推進活動の総括」「2024年1月契約更改の取り組みおよび2023年度推進活動」「住まいる共済制度改定」「2024年契約更改の事務処理」について、説明等があり、住まいる共済、加入上限年齢、個人賠償責任共済の付帯、マイカー共済アンケート等について意見が出されました。その後、優秀分会・支部表彰では、「林野労組西都児湯分会」が選出され、水田事務局長より表彰状が授与され、初日が終了しました。

2日目に入り、「地方推進方針及び活動計画」について、古村代表委員より「2022年度推進活動状況および契約更改」「退職予定者及び退職後の対策

8月31日、大分市レゾナントホテルにおいて、森林・林業活性化議員連盟・九州連絡会議役員会が開催され、地本より3名、大分分会より1名が出席しました。

冒頭、井上明夫事務局長（大分県副会長、会長代理）より、

ウッドショックについては、コロナ禍による景気対策により新築住宅着工件数が増加したものの、北米西岸の製材工場の稼働率低下に伴い日本への製品輸出が減ったこと及び異常気象による森林火災により製材丸太の供給が不足したことで首都圏住宅市場が逼迫。その不足分を南九州及び北関東・東北の製品に当てたことから木材価格の高騰に繋がったこと、また、九州には年間5万㎡以上の国産丸太を消費する製材・合板工場が多いこともあげられると分析。今後、長期的な視点から木材

における加入促進」「若年層に対する加入促進」「共済オルグの実施」等を提起、追口森林労連業務担当職員より「自賠責共済の取り組み方針と加入目標について」を説明し、九州の現状を全体で認識し推進方向について確認しました。

全体的な質疑では、自賠責に係る林退会としての対応や今後の推進体制における実情等の活発な意見が出されました。最後に、2024年1月契約

更改や、共済運動の推進に向けて全体で意思統一を図り、2023年度の共済推進会議は閉会となりました。

優秀分会・支部表彰は西都児湯分会

モニターによる講義

次に、協議事項として令和4年度事業報告及び決算報告、監査報告、令和5年度活動報告、子算、10月に熊本市で開催予定の九州大会に関する報告を協議。全会一致で承認され閉会となりました。

輸出のマーケットとして日本の相対的魅力の低下は続くこと、スギ丸太を1万5千円/㎡とし全ての再造林を含めた全てのジャンルに採算の合う木材産業の確立を行うことが急務であり、その確立に向け取り組みと締めくくり講話は終了しました。

ラゲビー ワールドカップが開幕した。私は昔から観戦していた訳ではなく、近年の活躍から応援している言わば「にわかファン」である。発祥は諸説あるだろうがサッカーの試合で反則であるボールを持って走った事と書いてあるのを見た事がある▼サッカーもファンは多いが負けず劣らず人気がある。ルールが変化しながらも別の良さがあり原型の方が良いとは限らない事を証明したのではないかと▼ジャッキーというボールを奪取する技は、相手がタックルを受けて倒れている時は出来ないと思っていたが奪取しても良いタイミングがある。それが「にわか」では難しい。政治の世界においても、ジャッキーのタイミングを見極める事が重要だ。ルールに沿ったジャッキーにより、試合後は敵も味方もノーサイドといきたいところである (SUKI)

- 当面の行動
- 10月3日 長崎分会大会
 - 5日 安全祈願
 - 6日 熊本分会大会
 - 13日 全国代表者会議 (東京都)
 - 14日 全国共済理事會 (東京都)
 - 17日 人事院交渉(福岡市)
 - 20日 分会財政担当者会議 (Web)
 - 21日 全山労宮崎県本部定期大会
 - 27日 九州地方森林労連定期大会
 - 11月15日 全山労宮崎同友会定期大会
 - 17日 2023新採労働学
 - 19日 校

匠の腕

「秋!!」
(撮影者 柿田憲司：宮崎分会)

「匠の一言」
皆さんはスポーツの秋ですか？

ラゲビー

ワールドカップが開幕した。私は昔から観戦していた訳ではなく、近年の活躍から応援している言わば「にわかファン」である。発祥は諸説あるだろうがサッカーの試合で反則であるボールを持って走った事と書いてあるのを見た事がある▼サッカーもファンは多いが負けず劣らず人気がある。ルールが変化しながらも別の良さがあり原型の方が良いとは限らない事を証明したのではないかと▼ジャッキーというボールを奪取する技は、相手がタックルを受けて倒れている時は出来ないと思っていたが奪取しても良いタイミングがある。それが「にわか」では難しい。政治の世界においても、ジャッキーのタイミングを見極める事が重要だ。ルールに沿ったジャッキーにより、試合後は敵も味方もノーサイドといきたいところである (SUKI)

各地で待望の対面方式を再開 分会大会

大隅分会



3年ぶり 団結を深める

【大隅分会・吉田通信員】
9月1日(金)に大隅森林管理署会議室において、3年ぶりとなる対面方式で第19回大隅分会定期大会を開催しました。

「大隅分会では、3年ぶりとなる対面方式で第19回定期大会を開催しました。役員改選では、新たに藤崎執行委員が加わった新執行体制となりました。続いて、大会スローガン・大会宣言が採択され、最後に小島執行委員長による団結がんばるうで大会は終了しました。大会終了後は、場所を移し

役員改選では、新たに藤崎執行委員が加わった新執行体制となりました。続いて、大会スローガン・大会宣言が採択され、最後に小島執行委員長による団結がんばるうで大会は終了しました。大会終了後は、場所を移し

「近年の新型コロナウイルス感染症で日常の健康面や、資材の高騰、納期の遅れ、年々上がる税金等で私たちの生活や仕事に大きな影響が出ている。また、職場では業務の平準化や欠員ポストの補充、要員確保の課題等が山積となっているが、諸課題の解決に向けて組合員同士の懇親を深め、組合員で良かったと思える組織を目指して全力で取り組みたい」とあいさつ。

局分会



全員で団結ガンバロー

【局分会・内海通信員】
9月7日、分会は森林管理局2階大会議室において、第19回分会定期大会を開催、組合員54名(出席54名、委任状20名)が参加し、4年ぶりの集合形式による開催となりました。

日田市の7月豪雨災害でボランティア要請を受け 屋内の土砂除去・家財の清掃を実施!



全体で内容を確認

【大分西部分会・蒲池通信員】
本年7月7日からの記録的な豪雨により、大分県は日田市・

中津市に災害救護法を適用しました。そうした中、大分県社会福祉協議会から、これまで立ち入り禁止地区であった、日田市小野地区の立ち入りが可能となるタイミングで、連合にボランティア派遣要請が行われました。連合大分は、「第1回災害対策本部会議」において8月19・20日の2日間、ボランティア活動を行うことを確認したことから、当分会からも中山・蒲

池組合員2名が参加しました。我々が参加した19日(土)は、県内の構成組織より約70名の参加があり、4班に分かれそれぞれの住宅等へ向かいました。日田の茹だる暑さの中でありましたが、悲惨な被災現場を確認すれば、少しでも早く元の生活に戻れるようにとの思いを抱き、室内の土砂の除去や家財の清掃など行いました。近年の異常気象を止めること

大会は、議長団に高木(4階班保全課)、黒田(2階班総務課)の両代議員を選出し、議事が進められました。

冒頭、西山委員長代行は、「近年の新型コロナウイルス感染症で日常の健康面や、資材の高騰、納期の遅れ、年々上がる税金等で私たちの生活や仕事に大きな影響が出ている。また、職場では業務の平準化や欠員ポストの補充、要員確保の課題等が山積となっているが、諸課題の解決に向けて組合員同士の懇親を深め、組合員で良かったと思える組織を目指して全力で取り組みたい」とあいさつ。

その後、来賓として出席の加藤地本委員長からあいさつを受けた後、連合や各政党などよりあいさつ及びメッセージが披露されました。

引き続き分会執行部より2022年度活動報告、決算報告、会計監査報告、2023年度活動方針(案)、予算(案)が提案され満場一致で可決・承認されました。



ボランティア作業の様子

は難しいですが、山地・山腹の崩壊等を少しでも防ぐために、確実な森林整備を継続して、災害に強い森林を作ることの重要性を感じた一日となりました。

その後役員改選を行い、大会スローガン、大会宣言が採択されました。

最後に、役員改選で新たに執行委員長に選任された後藤分会執行委員長による団結ガンバローで大会を終了しました。

- 執行委員長 後藤一哉
副執行委員長 西山太英
副執行委員長 藤川涼一
書記長 内海康雄
執行委員 小山雄平
執行委員 坂元美聖
執行委員 平松大志
会計監査委員 黒田優衣
会計監査委員 岡 杏奈
選挙管理委員 中村健一
選挙管理委員 野田誠治

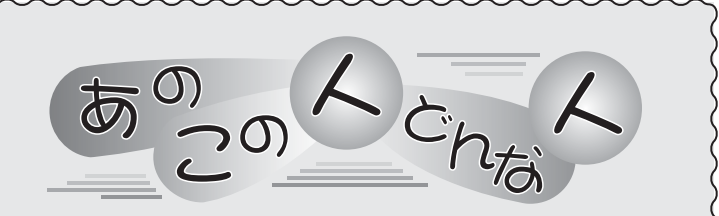
沖縄分会



離島からも結集

【沖縄分会・小崎通信員】

9月11日、沖縄森林管理署会議室にて林野労組沖縄分会第19回定期大会を開催しました。当分会は沖縄本島から約400km離れた離島で勤務している組合員もいることから、参加しやすくなるよう会議で出席するタイミングで開催をしました。冒頭、西執行委員長より「昨



「新規採用ですがB'zとミスチルも大丈夫です。」

富永 遥己さん(熊本南部分会)



今回、熊本南部分会からは今年度の新規採用、富永遥己さんを紹介いたします。富永さんは業務グループ資源活用として日々の業務に取

り組んでいます。出身地は長崎県諫早市で部活は野球で高校球児として外野手全般を受け持っていたと。趣味はもちろん野球、ですが先日、分会大会後の懇親会の二次会において、恒例?の若手からのカラオケが始まり、どんな最新曲を歌うのかの見ていたので、なんとB'zの曲が...、

毎年十一月に開催されるソフボール局長杯では、数少ない経験者であることから、主力メンバーとしての期待をしております。もちろん試合では、年配者のフォローを是非ともお願いしたいところです。今後もしも業務を経験してもらい、また、組合活動にも積極的に参加していただき、スキルアップしていただきたいと思います。

【三浦通信員・熊本南部分会】

大分西部分会



活発な議論が行われる

【大分西部分会・井上通信員】
三年ぶり組合員と顔合わせ、

冒頭、橋本執行委員長より、冒頭に3年ぶりのコロナ化の長いトンネルを抜け、組合員対面式の大会が開催されたことに加え、政治情勢や国有林情勢等を含め、この一年の組合運動の総括とこれからの運動方針について、大会での活発な議論を求めよう挨拶がありました。

その後、九州地本から歌野執行委員長より、国有林野事業の推進、要員問題、事業量増加に係る取り組みと組織態勢の確立をお願いする旨の挨拶がありました。引き続き、2022年度の総括と2023年度運動方針、また、各決算・予算報告等が提

記事を募集しています!!

分会で開催したいろんなイベントや会議、地域の集会等の記事を募集していますので、教宣担当のメールアドレスへ投稿をお願いします。E-mail sinrin14-kaku@siren.ocn.ne.jp (教宣担当)

最後に新体制となった橋本執行委員長の団結ガンバロー三唱で、大会は終了しました。

案され、質疑では、要員関係の労働条件に関する質問・1級職等に関する意見が出されました。議案については組合員の拍手によって満場一致で採択されました。